



喜小だより



令和3年12月24日発行

発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

安全・安心で実り多い冬休みを！

校庭の木々はすっかり葉が落ち、花壇にできた霜柱が本格的な冬の到来を物語っています。そんな中でも、子どもたちは寒さに負けずに校庭を走り回ったり、遊具で遊んでいたりとおり、たくさんの元気をもらっている感じがします。

さて、今年を振り返ってみますと、今年も新型コロナウイルス感染症の感染状況に大きく左右された一年でありました。春から初夏に書けての第4波、夏から初秋にかけての第5波などがあり、緊急事態宣言に伴う臨時休校や午前中授業などもありました。そんな中で、「新しい学校生活のスタイル」の日常化することに努めながら、教育活動を実施してきました。特に、夏休み前や10月以降、予定していた学校行事や様々な体験活動等を無事実施することができ、子どもたちも大きく成長してきていると感じています。

いよいよ明日から冬期休業（冬休み）です。今年は、17日間のやや長い休業となります。ぜひ、安全・安心な17日間を過ごしてほしいと思います。

児童の皆さん、保護者の皆様、どうぞよいお年をお迎えください。



6年生「命の授業」 12月20日(月)

6年生の学級活動の時間に、助産師さんをお呼びして「命の授業」を実施しました。何億分の一の確率で生まれてきたこと、自分が生まれていたいと思って生まれてきたこと、祖先からの「いのちのバトン」を受け継いでいることなど、私達にとって一番大切な「いのちを守る」ことに関して、たくさんのことを学びました。

「生きているだけで100点まんてん」



朝の交通安全街頭指導

年末の交通安全県民総ぐるみ運動の一環として、教職員による街頭指導を行いました。子どもたちの横断歩道の渡り方がとても上手でした。自分の命を自分で守るという意識が育ってきています。



挨拶いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい



喜連川小学校のホームページです。
喜小だよりも、カラーでダウンロードしていただけます。子どもたちの記事も、写真を多めにしながら、頻繁に更新して載せておりますので、ぜひご覧ください。

図書室の「山口文庫」

12月17日(金)

図書室に「山口文庫」のコーナーがあります。喜連川小学校の合併前の平成18年から、毎年約40冊の本を寄贈していただいています。今年も、本校に起こし下さり、図書カードを寄贈していただきました。「山口文庫」のコーナーをさらに充実させて、本好きの子どもたちを増やしていきたいと思ひます。



第2回学校運営協議会

12月16日(木)

本年度第2回目の学校運営協議会を行いました。授業を参観して子どもたちの様子を見ていただいた後に、「あいさつ」をさらに充実させるための話し合いを行いました。熟議の結果、保護者の皆様からもあいさつ標語を募集することになりました。



姿勢名人(よい姿勢)

本校には、よい姿勢の手本となる子どもたちがたくさんいます。「背筋がピン!足元ピタ!」が合い言葉です。姿勢は、自分の健康のためにも大切です。この習慣をこれからも大切にしていきたいです。



本校の特色紹介⑥ 多層指導モデルMIM(ミム)

さくら市の小学校低学年で実施している取組です。MIMは、「読み」の指導において難関とされています「特殊音節」(促音や長音、拗音など)に焦点をあてて、文字を語句を正しく読んだり、書いたり、なめらかに読んだりできるようにする指導モデルです。低学年のうちに、「読み」が正確にできるようにしておくことが、やがて読解力の高まりにつながっていきます。現在本校では、朝の学習の時間等を使ってプリント類を使ったトレーニングを行い、月1回の確認テストで「読み」の状況を確認しています。プリントに書く、プリントから正しいものを選ぶ、リズムを打ちながら発音する、フラッシュカードのように見えた文字を読むなど、指導方法も様々です。この活動を通して、文字を読み取るスピードが速くなり、正しい発音をしている子どもたちが増えてきました。確実に成果が上がっています。



この「多層化指導モデルMIM」は、「喜小だより第28号」でお知らせいたしましたように、来年度から「授業時数特例校制度」を活用して、国語の時間として実施していきます。